

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年4月10日			
平成15年度	事業コード	23210	電話	042-769-8282
担当部課名	管理部	学務	課	学務 係
事務事業名	学童通学安全指導員経費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第2節	安心して暮らせるまちづくり	14年度
施策名	第1施策	交通事故のないまちづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

学童通学安全指導員運営要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
学童の通学上の安全を図るため、交通量が多く信号の無い交差点を横断する箇所や、不審者が出没するような箇所に、学童通学安全指導員を配置する。	学童通学安全指導員
	対象数 116人(代理者含む)
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
学校長より推薦を受けた者に街頭指導方法講習を実施 学童の登下校時間に、指導配置地点における交通の整理・誘導を実施 指導配置箇所 73箇所(登校時63箇所 下校時9箇所 防犯対策1箇所) 決算(見込) 学童通学安全指導員謝礼 13,164,380円(1時間あたり 800円) 指導員関連消耗品(被服等の貸与物品) 577,500円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	交通事故防止達成率	100-(今年度交通事故が発生した指導員配置箇所数/指導員配置箇所数×100)	指導員が配置された危険箇所です交通事故防止の達成率を表す。			100	100	100
	指導実績率	実際の年間指導日数計/年間指導予定日数計×100	指導員の指導日の成果を表す。			99	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	項目	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額			13,742	18,286	18,286
	人員・時間数			0.2人	0.2人	0.2人
	人件費			1,678	1,678	1,678
	その他経費			0	0	0
	合計	0	0	15,420	19,964	19,964
	特定財源			0	0	0
	対象数			116	136	136
	対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	132.9	146.8	146.8

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	危険度の高い交差点や横断地点に指導員が立つことにより交通事故防止が図られ、学童もスムーズに横断できている。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 道路の横断については信号機の設置できない箇所もあるため、そのような交通量の多い箇所に指導員の配置は必要。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	交通量の多い道路横断箇所に配置し、学童の登下校時の安全性を確保する上で有効である
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 通学路の危険箇所で、PTAでの交通指導が対応できない箇所に指導員を配置している。
(5)公平性 評価 B ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	配置要望箇所のうち配置基準を満たしていても指導員のなり手が居らず保留となっている箇所がある。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 既設配置箇所で危険度が低くなった箇所は、危険度の高い保留箇所と入れ替えて配置をするよう見直しを図る。	手段	謝礼支払い事務を臨時職員で行う。
		削減額	160 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
		伊勢原市 交通整理員(事業主体は交通安全協会) 6箇所 6名 勤務時間5時間 1時間あたり810円を協会へ補助金交付 座間市 学童交通安全指導員 7箇所 7名 勤務時間4時間 日額4,547円~6,063円 (勤続年数による) 大和市 通学指導員 4箇所 4名 勤務時間5時間 月額112,500円
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	配置要望箇所のうち配置基準に該当する危険箇所全てに対し配置できていないので、既設配置箇所で危険度の低くなった箇所の見直しが必要である。
<input type="checkbox"/>	廃止	また、今後は市民自らで交通事故から子どもを守るためのボランティア的交通安全指導員体制の整備・普及が必要と思われる。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--